

2025年
7月13日(日)
9:30~15:30

電串ビジターセンター
うみのわ



参加費無料
お弁当付き

石碑にかくされた 自然災害の記録を発見して 将来にそなえよう！

本プログラムは、JSPS 科研費 JP25HT0066 の助成を受けたものです。

対象：小学5・6年生～中学3年生
定員：15名（先着順）

雨天決行
雨天時は
実習の一部の作業を
室内で実施します

【申し込み方法】

高知コア研究所HPにて受付
(6月30日(月)締め切り)



石碑にかくされた 自然災害の記録を発見して将来にそなえよう！

ひらめき☆ときめきサイエンスとは、大学や研究機関で「科研費」により行われている最先端の研究成果に小学生～高校生のみなさんがじかに触れることで科学の楽しさを感じてもらうプログラムです。今回、南海地震と水害の記録が刻まれる土佐清水市の石碑（自然災害伝承碑）を対象に3Dデジタルモデルやデジタル拓本などの最先端技術を用いて、自然災害の恐ろしさを学び、未来へ伝えようという企画を実施します。地震や地形を研究しているハカセと一緒に楽しく学びませんか？



見学

日時：2025年7月13日(日) 9:30～15:30 (9:00受付開始)

※ 雨天時は実習の一部の作業を室内で実施します。
ただし、大雨・暴風・波浪警報等が発表されたときは中止します。

開催場所：竜串ビジターセンター「うみのわ」

受講対象：小学校5・6年生・中学生 ※保護者の同伴可能

募集人数：15名（先着順）

参加費：無料（弁当付き）



3Dモデルの作成



従来の拓本

スマホアプリで
ひかり拓本

9:00 受付開始（うみのわ）

9:30 開会式

講義 自然災害伝承碑の説明

実習 石碑の見学（車で移動）
3Dモデル作成用データの取得
「ひかり拓本」の実践
従来の拓本の体験

12:15 ～昼食～

実習 フォトグラメトリによる3Dモデルの作成
作成した「ひかり拓本」の確認
オリジナルの自然災害碑の制作と発表会

15:30 終了・解散

<申し込み方法>

下記URL、
もしくはQRコードから
必要事項を入力して
お申し込みください。



【締切 6月30日(月)】

<https://www.jamstec.go.jp/kochi/j/hiratoki2025-1/>



谷川 亘
海洋研究開発機構 高知コア研究所・主任研究員

本イベントは土佐清水市では2020年に開催して以来2度目になります。前回と比較して内容をパワーアップして戻ってきました！ 前回実践したフォトグラメトリに加え、一般的な拓本、ひかり拓本の実習など様々な体験が目白押し。明るく楽しくても真剣にをモットーに新たな視点で自然災害を学びましょう！



鈴木 比奈子
専修大学文学部

みなさん、石碑はごつごつして、読めないし、なんだかよくわからないものだと思います。私もそう思っていました。ところが、今の科学技術を駆使すると過去の自然災害を知ることができるデータになるのです。そのためには地域の地形＝でこぼこを知るともっとわかるようになります。昔の人が、今の私たちに残してくれた石碑を使って、みんなで将来の災害について一緒に考えてみませんか？



山本 哲也
黒潮町教育委員会・黒潮町文化財保護審議会委員

拓本は物の形を紙に写し変えて伝達する保存方法のひとつとして発展してきました。釣り上げた魚を写す魚拓から書道の手本となる王羲之の蘭亭序など身近なところで拓本の世界は広がっています。私も文化財保護の仕事に携わるなかで、石造物、土器や瓦類、古鏡や銅鐸などの青銅器の拓本づくりに関わったことがあります。拓本づくりを行うなかで、物に対する観察力や探究心が自然と養われることがわかります。ぎっと物と心のなかで何度も対話をしていた影響があったかもしれません。不思議な拓本の世界、皆さまも少しのぞいてみませんか。

【※特記事項】

1. 会場までの送迎は各自お願いします。
2. 車での移動があります。各自酔い止めを用意してください。野外で実習するため動きやすい服装をお願いします。
3. 受講者の昼食・お茶は会場でご用意します。保護者の方は参加は可能ですが、昼食は各自でご用意ください。